



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年1月31日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

ストーリー S 「陸軍中野学校 最後の証言」 2月7日(日) = 1面、ストーリー一面

東京・中野。かつてこの地に、謀略、遊撃戦などを専門とする秘密戦士を養成するための陸軍中野学校がありました。日中戦争が始まった翌1938年に開設され、敗戦までのおよそ7年間に、巣立った卒業生は二千数百人。学校の性質上、その実態はいまだ厚いベールに覆われています。初めて明かされる元陸軍大尉の証言は、知られざるもう一つの世界を照射します。



東京警察学校の敷地端に建つ「陸軍中野学校跡」と記された石碑
|| 東京都中野区で

鈴木大地の Sportology スポーツロジー スポーツを深化する

2月3日(水)から
=スポーツ面

昨年9月に初代スポーツ庁長官を任期満了で退任した鈴木大地さんの新コラム「鈴木大地のスポーツロジー」がスタートします。スポーツロジーとは、身体活動をキーワードにさまざまな専門分野にわたる新たな学問です。医学博士でもある鈴木さんが、前コラム「長官鳥瞰(ちょうかん)」を発展させ、スポーツ

の「深化」を目指します。「コロナにはこれが効く！」などと真偽不明な情報が飛び交う今日です。正確な健康情報にご期待ください。

特集 ワイド

新型コロナウイルス感染症の急拡大で政府が11都府県に発令した緊急事態宣言の解除期限が迫る中、感染者が自宅療養中に死亡するケースが

報じられるなど感染症の怖さが改めてクローズアップされています。東京都の宣言解除目安を「新規感染者100人以下とすべき」などと主張

している白鷗大教授、岡田晴恵さん
|| 写真 || を取材し、自宅療養者のリスクや「備えのススメ」、注意点を語ってもらいました。

「コロナ感染 自宅療養のリスクとは」 岡田晴恵・白鷗大教授に聞く

2月2日(火)

|| 夕刊特集ワイド



50代中年ウーバー配達員の奮闘と苦悩 2月2日(火) = 暮らしナビ面

「ウーバーイーツ」など料理配達サービスが普及し、大きな保温バッグを背負って走る自転車やバイクを街中で見かけることが増えました。多くはアルバイトの若者たちですが、

中には、新型コロナウイルス感染拡大を機に、仕事を始めたという50代の配達員たちもいます。どんな思いで仕事をしているのか。東京都内で、記者が密着して話を聞きました。



第100回全国高校ラグビー大会(毎日新聞社など主催)で見事連覇を果たした桐蔭学園高校。その優勝の号外を渡す機会が先日ありました。形として残る号外は、記念としてずっと保管できるのが良いところ。選手たちは熱心に見入っていました。

世間はいま、新型コロナウイルス関連の話題一色ですが、今年はこの日を多く届けることが出来たら、と思う(志村光太)

竹橋の窓辺から
編集後記

